

臨床腫瘍セミナー

平成25年6月18日(火)

18時~19時

「がんのトータルケア」

～診断・治療から家族や社会生活サポートへの聖路加国際病院での取り組み～

福島県立医科大学

ふくしま国際医療科学センター

医療-産業トランスレショナルリサーチセンター

臨床研究・治験分野

小川 千登世 先生

<講演内容>

正確な診断と治療を受けることでがんは不治の病ではなくなってきています。小児がんは80%近くが治る時代ですし、成人のがんの治療成績も向上してきています。より良い治癒、また、治療中も治療後もより満足度の高い生活をめざすために、がんそのものの治療だけでなくトータルケアの必要性が高まってきています。医師が患者さんに初めてがんを告げるとき、どんな環境で話すか、また、がんを受け入れて治療に入る時の様々な問題、治癒を目指して治療を行うために必要な家族や社会生活へのサポート、治せなくなった時の治療選択や本人や家族との話し合いなどを聖路加国際病院でのトータルケアを小児がんと若年成人の症例を中心にお話しさせていただきます。また、小児がんのこどもたちへの説明やがんの患者の親をもつこどもたちへのお話も含め、がんとともにある家族へのチャイルドライフスペシャリストのかかわりもご紹介いたします。

<講師紹介>

1990年福島県立医科大学卒業。群馬大学小児科入局。1993年からは小児血液腫瘍を中心に診療。2004年より日本小児白血病研究グループ(JPLSG)再発ALL委員、2006年からは同委員長として小児急性リンパ性白血病の再発・難治例の治療研究・薬剤開発に従事。2005年より聖路加国際病院小児科、2012年より福島県立医科大学産学官連携推進本部創薬関連トランスレショナルリサーチ部門(11月組織改編により現所属)勤務。

<次回開催のお知らせ>

日時：平成25年7月16日(火)

18時~19時

杏林大学医学部 腫瘍内科

長島 文夫先生

「高齢者がん患者の評価(仮)」

<問い合わせ先>

福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター

がんプロフェッショナル養成支援室

TEL: 024-547-1806(内5112) mail: yamadaa@fmu.ac.jp

- ◆がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業の一環となっております。
- ◆本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。